目指せ!

生薬の里美郷

生薬原料のキキョウ根を収穫しました!

平成30年6月に定植したキキョウの根の収穫作業が町内農家ほ場で行われ、薬用植物栽培勉強会の会員や秋田県仙北地域振興局の職員など21名が参加しました。収穫作業は10月上旬から11月上旬にかけて行われ、このあとの洗浄や皮むき、乾燥の作業を経て出荷します。

町では「キキョウ」のほか、「カンゾウ」「エイジツ」「センブリ」を栽培してみたい方を募集しています。興味のある方はお気軽に町農政課へご相談ください。

また、薬用植物栽培勉強会を開催しています。生薬栽培をしてみたい方はぜひご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

問●町農政課　農業振興班　☎0187(84)4908

文化財探訪 No.3

美郷町の歴史と文化をたどる

六郷一里塚・ケヤキ

今月は、昭和52年に史跡として指定した「六郷一里塚」、平成16年に天然記念物として指定した「ケヤキ」をご紹介します。

六郷一里塚のある羽州街道は江戸時代の街道であり、全長約497㎞、藩の参勤交代や住民の生活道路として利用されました。

福島県桑折で奥州街道から分かれた羽州街道は、奥羽山脈を横断して出羽国に入り、山形県内の米沢、山形、新庄を通過して秋田領に入ります。佐竹氏が初めて領内に入った翌年の慶長8年（1603年）に院内杉峠を切り開き、秋田藩への出入口となっています。久保田藩の初代藩主である佐竹義宣は慶長9年（1604年）、一門や譜代の重臣を道作奉行に命じ領内の街道を整備させました。明治に入ると、イギリスの女性旅行家であるイザベラ・バードが紀行文を残しています。

一里塚は、羽州街道や主要脇街道の角館街道などに設けたものです。

六郷一里塚は、院内杉峠から15里（60㎞）、久保田城下まで16里（64㎞）の地点を示しています。この街道をはさんで北側（本館）にはケヤキ、南側（川内池）にはサイカチを植えていましたが、今は失われています。

ケヤキは、寛文元年（1661年）より前、羽州街道開設当時の樹木と考えられ、樹齢340年以上、樹高約14m、目通り4.2mを測ります。

■六郷一里塚

■ケヤキ

文芸美郷

短歌

長い道歩み五十年金の地へ大国主の命に感謝　金沢　伊藤　敏子
情無や杖も眼鏡も補聴器も手ばなし出来ない八十路の末路　金沢西根　照井　隆實
遠来の「従妹」の便りに励まされ「これぢゃだめだ」と喝を入れこむ　六郷　岩田　貞
秋雨へ叫びたくなる不条理な禁句が胸にささるくるしみ　大町　藤本　昇
晩秋の小鳥さえずる小枝にてさえずる仲間チュンチュンと　田の尻　藤原　一男
台風（十九号）の強風だく流放映す被災家族に我が声とどかず　元村　照井冨士男
里山に雪降る前に帽子編み地蔵に被せ山を後にし　天神堂　中江紗代子
落ち穂食うカラスの群れに子供らが後をけしかけ刈り田に遊ぶ　安城寺上　森元　宏美
「うしろ村」なつかしき名が目に止まる幼児の頃の様子浮かび来　大畑　髙橋　リツ
稲刈られ動きの鈍いいなご達明日からはどう生きて行くやら　下畑屋　大和福三郎
山道を大型ダンプが越して行く煽りの風に軽トラ揺るる　善元寺　髙橋イツ子
静かなる時間の中で昔日の振子時計をおもい父母を想いぬ　小荒川　齊藤　キミ
植え替えし紫式部の円らな実深まる秋のまさに宝石　羽貫谷地　武田　敏男
集落でいつの間にやら最高齢同期減りゆきシワのみ増える　金沢　野村　秀夫
孫からの電話に惑う太き声ぶっきらぼうに訛り飛びかう　千屋　髙橋　重寿
ひばり歌「悲しい酒」に支へられあまたの涙彼方消へ去り　愛知県　寺澤　良子
新米をカメムシ食ても農業の苦労思うと美味で食す　六郷　籠谷　ミチ
一年も感じる儘に詠しうた早峰白く季移るなり　千屋南部　戸澤　稜生
雨晴れてひときわ澄める山脈の中腹に浮くちぎれたる雲　一丈木　髙橋　冬樹

俳句

山粧う令和の色を濃く淡く　千屋　戸澤　陽子
小雪舞う稲穂背負いし昭和のこと　六郷　西村　文子
木枯しに冬将軍真正か　橋本　木村　タエ
囲ひ終え母の在所はねむり落つ　六郷　髙橋みつを
遠き日の母の字に似たサンタの手紙　善元寺　髙橋　悦子
日を追ふて心忙しき雪催い　金沢西根　加藤　省市
友偲び集ふ一ト日や冬はじめ　金沢西根　加藤　栄子
ピラカンサてんてんと落深雪晴　埼玉県　高橋　廣子

川柳

熊出ても天災少なく美郷好き　上畑屋　髙橋　房雄
煤ぼける夢でもいい青春をみたい　元本堂北部　齊藤しほ子
出来秋の軽トラ市はあばえ気　上野荒町　鈴木　直保
空青く心も晴れて冬支度　中野　深澤　光二
増税前買った商品期限切れ　西高方町　入海小夜子
ダイエット2キロ減ったよ嬉しいな　上畑屋　小林　大悟

イラスト

「蔦紅葉」　坂本　和子さん（六郷）

作品を募集します（短歌・俳句・川柳・イラストなど）

作品には読み仮名をおふりいただき、応募される方のお名前、住所、電話番号を明記のうえ、12月6日㈮までご応募ください。応募は1点とし、応募者多数の場合は掲載できないことがあります。内容が広報掲載上好ましくない作品については掲載しません。

応募先●町総務課、六郷出張所、仙南出張所
町のメール　info@town.misato.akita.jp

学友館から　新刊図書のご案内

問い合わせ●図書館 ☎0187(84)4920

今月のオススメ

まるわかり世界の王室	清水書院編集部(編)
漢方嫁日記　体質改善編	ふかや かよこ(著)
ヤットコスットコ女旅	室井 滋(著)
こども六法	山崎 聡一郎(著)
おかしなおきゃくさま	ペク ヒナ(作)

一般図書

こんがり偏愛レシピ	市瀬 悦子(著)
親に寄り添う、実家のちょうどいい片づけ	Emi(著)
写真みたいな絵が描ける色鉛筆画	三上 詩絵(著)
明日死ぬかもしれないから今お伝えします	サトウ ヒロシ(著)
シルバー川柳 9	全国有料老人ホーム協会(編)
アスリーツ	あさの あつこ(著)
泉鏡花<怪異・幻想>傑作選	泉 鏡花(著)
某	川上 弘美(著)
落日	湊 かなえ(著)
アウシュヴィッツのタトゥー係	ヘザー・モリス(著)

児童書

大人になったらしたい仕事 3	朝日中高生新聞編集部(編)
「もしも」のときに役に立つ! 防災クッキング 1	今泉 マユ子(著)
未来を変えるロボット図鑑	ルーシー・ロジャーズほか(監修)
魔女のいじわるラムネ	草野 あきこ(作)
ヤービの深い秋	梨木 香歩(著)

えほん

たまごにいちゃんとたまごじいさん	あきやま ただし(作・絵)
おもいおいも	木坂 涼(作)
ともだちしょうかいしようかい	tupera tupera(作)
うっかりおじさん	エマ・ヴィルケ(作)
わんぱくだんのてんぐのすむやま	ゆきの ゆみこ(作)